



グローバルな連携を
 県公立大学法人理事長
 國井 総一郎氏



「本学生生き残りのため、他の大学にはない、とんがった部分をつくる」と宣言するのは、兵庫県立大学（神戸市西区）を運営する県公立大学法人理事長の國井総一郎氏（70）リノーツ会長。少子化が進む中、最も力を注ぐのがグローバル化だ。「大学と企業は海外でも、採用や共同研究で連携を深めるべき」と説く。ベトナムに現地法人を持つ企業の中には、日本でベトナム人留学生を採用している。「今後は県立大が提携する同国の大学から、現法が学生を採用する流れを作りたい。共同研究も広がれば」と期待する。「大学と企業がグローバルに連携し、双方の価値を上げたい」（高見雄樹）

令和5年9月26日(火)
 神戸新聞 朝・夕版
 1/7 頁 神戸